

子育て支援・ワクチンの助成を

質問

愛西市の15歳未満の子どもの人口は、15・5%である。

少子化が進む中で、経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の無料化について、通院は4月より小学校6年生まで拡大され喜ばれている。今後、中学3年生まで引き上げた場合の試算は。また、無料化を拡大してほしいが。

市長

尾張9市の中で、弥富市の次は愛西市の小学6年生まで、その他は1割補助、3年生などである。現段階では上げる状況ではない。

質問

赤ちゃんと親御さんに絵本を贈って、読み聞かせをしていくブックスタートの実施を。

市民生活部長

佐屋、佐織保健センターでボランティアの方による絵本の読み聞かせをしているのを、今後も充実していきたい。

市民生活部長

平成22年度の予算ベースでの試算は8千520万円になる。

質問

子宮頸がんは、年間約1万5千人の女性が発症し、約3千500人が亡くなっている。感染する前にワクチンを接種すれば発生を阻止できるが、3回の接種に約5万円前後の費用が必要で、経済的に

厳しい方もいる。女性の命を守るためにも公費助成できないか。

また、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンも任意接種で1回1万円。4回接種が必要なので公費助成できないか。

市民生活部長

愛西市議会として、国へ「早期定期予防接種化を求める意見書」を出している。また、東海市長会で要望している状況であるので、現時点では市独自の助成は考えていない。

地上デジタルへの対応とCATV

質問

地上デジタルテレビ放送へ移行まで約1年となったが、公共施設、小・中学校の地上デジタル放送への取り組みは。

教育部長

小学校73台、中学校34台の50型のテレビを設置した。受信方法は、すべてケーブルテレビにつないでいる。

総務部長

経費負担を抑えていくことで、原則、地デジチューナーで対応を進めている。

質問

近隣市町のケーブルテレビの使用料の状況は。

企画部長

81施設のうち32施設が昨年度終わり、本年度32施設、23年度9施設の改修計画で、残り8施設は、利用状況を検討した上で、テレビを廃止する予定である。

一般放送の地デジとコミュニケーションチャンネルは、現在735円というのが統一料金である。BSとかデジミニコースは2千100円の料金設定である。



榎本雅夫 議員

